

大阪芸術大学・大阪芸術短期大学 実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		大阪芸術大学		設置者名	学校法人 塚本学院			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成22年度)			
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業 者数	免許状 取得者数		教員 就職者数
						実数	個別	
芸術学部	美術学科	100人	中一種免(美術)	昭和39年度	131人	50人	38人	17人
			高一種免(美術)	昭和39年度			50人	
			高一種免(工芸)	昭和39年度			1人	
	デザイン学科	195人	中一種免(美術)	昭和39年度	211人	24人	15人	6人
			高一種免(美術)	昭和39年度			24人	
			高一種免(工芸)	昭和39年度			0人	
			高一種免(情報)	平成14年度			3人	
	文芸学科	60人	中一種免(国語)	昭和44年度	66人	4人	2人	0人
			高一種免(国語)	昭和44年度			4人	
	音楽学科	60人	中一種免(音楽)	昭和44年度	51人	9人	9人	0人
			高一種免(音楽)	昭和44年度			9人	
	工芸学科	50人	中一種免(美術)	昭和45年度	77人	11人	9人	2人
			高一種免(美術)	昭和45年度			11人	
			高一種免(工芸)	昭和45年度			8人	
演奏学科	60人	中一種免(音楽)	昭和46年度	72人	37人	35人	12人	
		高一種免(音楽)	昭和46年度			37人		
初等芸術教育 学科	80人	幼一種免	平成22年度	/	/	/	/	
		小一種免	平成22年度			/		
入学定員合計		605人	合計		608人	135人	255人	37人

大学名		大阪芸術大学(大学院)		設置者名		学校法人 塚本学院			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成22年度)				
研究科	専攻等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業 者数	免許状 取得者数		教員 就職者数	
						実数	個別		
芸術研究科	芸術文化学専攻美術・美術史学コース	20人	中専修免(美術)	平成8年度	3人	0人	0人	0人	
			高専修免(美術)	平成8年度			0人		
			中専修免(国語)	平成8年度			0人		
			高専修免(国語)	平成8年度			0人		
			中専修免(音楽)	平成8年度			0人		
			高専修免(音楽)	平成8年度			0人		
	芸術制作専攻造形コース	60人	中専修免(美術)	平成10年度	54人	17人	5人	8人	
			高専修免(美術)	平成10年度			6人		
			高専修免(工芸)	平成10年度			0人		
			中専修免(国語)	平成8年度			0人		
芸術制作専攻文学コース	60人	高専修免(国語)	平成8年度			0人			
		中専修免(音楽)	平成10年度			10人			
芸術制作専攻演奏コース	60人	高専修免(音楽)	平成10年度			11人			
入学定員合計		80人	合計		57人	17人	32人	8人	
大学名		大阪芸術大学(通信課程)		設置者名		学校法人 塚本学院			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成22年度)				
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業 者数	免許状 取得者数		教員 就職者数	
						実数	個別		
芸術学部	美術学科	100人	中一種免(美術)	平成13年度	15人	0人	0人	0人	
			高一種免(美術)	平成13年度			0人		
			高一種免(工芸)	平成13年度			0人		
	デザイン学科	100人	中一種免(美術)	平成13年度	5人	0人	0人	0人	
			高一種免(美術)	平成13年度			0人		
			高一種免(工芸)	平成13年度			0人		
	文芸学科	60人	中一種免(国語)	平成17年度	9人	0人	0人	0人	
			高一種免(国語)	平成17年度			0人		
	音楽学科	200人	中一種免(音楽)	平成17年度	37人	0人	0人	0人	
			高一種免(音楽)	平成17年度			0人		
	工芸学科	60人	中一種免(美術)	平成13年度	4人	0人	0人	0人	
			高一種免(美術)	平成13年度			0人		
			高一種免(工芸)	平成13年度			0人		
	初等芸術教育学科	100人	幼一種免	平成22年度					
小一種免			平成22年度						
入学定員合計		620人	合計		70人	0人	0人	0人	

大学名	大阪芸術短期大学部			設置者名	学校法人 塚本学院			
	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数
						実数	個別	
	英米文化学科	40人	中二種免(英語)	昭和29年度	24人	1人	1人	0人
	保育学科第1部	100人	幼二種免	昭和29年度	74人	69人	69人	20人
	メディア・芸術学科	130人	中二種免(国語)	昭和39年度	0人	0人	0人	0人
	デザイン美術学科	160人	中二種免(美術)	昭和35年度	125人	10人	10人	0人
	入学定員合計	430人		合計	223人	80人	80人	20人
大学名	大阪芸術短期大学部(通信課程)			設置者名	学校法人 塚本学院			
	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数
						実数	個別	
	保育学科	1,000人	幼二種免	昭和30年度	199人	137人	137人	0人
	入学定員合計	1,000人		合計	199人	137人	137人	0人
備考	<p>・「学部・学科等の名称等」欄は、平成23年4月1日現在の名称・定員である。</p> <p>・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。</p>							

実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成23年11月15日（火）

実地視察大学：大阪芸術大学・大阪芸術大学短期大学部

実地視察委員：大坪治彦委員、高倉翔委員、八尾坂修委員

■ 大学の教員養成に対する全般的な状況

<状況>

（大学）

- ・大学では通学課程で1学部7学科、通信課程で1学部6学科、大学院では1研究科2専攻で教員養成を行っている。

（短期大学部）

- ・通学課程で4学科、通信課程で1学科で教員養成を行っている。

<講評>

（大学・短期大学部共通）

- ・教員養成に関する教育課程、教員組織等については、学長を中心として教員養成課程の質の向上に対する努力の姿勢が見られる。
- ・一部、教職課程認定基準と照らし合わせ、改善が求められる点があるものの、全般的に良好に実施されている。
- ・初等芸術教育学科については、芸術に特化した教員ではなく、芸術教育を活かすことのできる教員を養成するという理念が明確にあり、そのための教育課程や施設設備が整っている。認定後間もない課程であるが、これからの成果を期待する。

■ 教員養成に対する理念、設置の趣旨等の状況

<状況>

(大学・短期大学部共通)

- ・法人設立時より教育者の養成を根本精神に据え、建学の精神を踏まえ、「教育における芸術の意義や役割を理解し教育現場で実践することができる」、「幼児・児童生徒・保護者・教員と良好な関係を築くことができる」、「教育者であると同時に芸術家・表現者として活動し芸術の良さを伝えることができる」資質を備える教員の養成を行っている。

<講評>

(大学・短期大学部共通)

- ・法人創設以来、教育者養成と芸術の専門教育に取り組んでおり、大学として養成しようとする教員像が明確化されている。そのための教育課程や施設設備が整備されている。
- ・これまで多数の教員を輩出している実績があり、より一層充実した教員養成が行われるよう、引き続き、各取組の充実に努めること。

■ 教育課程（教職に関する科目等）、履修方法及びシラバスの状況

<講評>

(大学・短期大学部共通)

- ・教職に関する科目について、教育職員免許法施行規則に定める「含めることが必要な事項」が含まれていない科目があるため、法令で扱うこととしている内容は必ず扱うようにすること。

(大学)

- ・中等の教職に関する科目のうち、「教育課程の意義及び編成の方法」が教科教育法に含まれる形で開設されているが、内容を十分に扱うことができるよう独立した科目として開設することが望ましい。
- ・教科教育法の授業において、中学校の指導案作成の際に中学校の教科書に加え、小学校の教科書も用いて授業が行われていることは大変評価できる。これからも学校種間の接続の意識を持って教育を行ってほしい。
- ・教育実習が4年次の11月に行われているケースもあるが、教職実践演習の開設時期と重なってしまうため、教職課程の総まとめとしての教職実践演習の趣旨を理解し、教育実習は4年次前期中に終了するよう改善を図ること。

■ 教育実習の取組状況

<状況>

(大学)

- ・ 中学校及び高等学校への教育実習先は母校を原則としている。
- ・ 実習期間中は、府内近隣校で実習する学生に対しては教職課程専任教員及び教科担当専任教員により訪問指導を行っており、遠隔地での実習生に対しては電話での指導を行っている。
- ・ 平成24年度からは学生の所属学科教員を含めた指導体制に改め、訪問指導を広範囲で実施する予定としている。

(短期大学部)

- ・ 幼稚園実習について、1年次の実習は4園ある附属幼稚園において、2年次の実習は出身園又は就職を希望する園で実習を実施している。
- ・ すべての実習園に訪問し指導するほか、日頃より各園で実施される研究会に参加し、実習園との交流を行っている。

<講評>

(大学)

- ・ 教育実習の実施にあたっては、課程認定大学は、教育実習の全般にわたり、学校や教育委員会と連携しながら、責任を持って指導に当たることが求められる。
- ・ 大学による教育実習指導体制や評価の客観性の観点から、可能な限り大学が所在する近隣において実習先を確保することが望ましいが、一方で、学生が出身地の学校への就職を希望するなどにより、遠隔地における教育実習を行う場合は、大学が、実習先の学校と連携し教育実習に関わる体制を構築するとともに、公正な評価となるように努めること。
- ・ 通信課程の学生について、大学が責任を持ってすべての学生に対して実習校を確保できる体制にすること。また、学生が、実践的指導力を身に付けることができるよう、教育実習に係る指導体制の工夫を図ること。

■ 学校現場体験・学校ボランティア活動などの取組状況

<状況>

(大学)

- ・近隣教育委員会と連携を取り、学校ボランティアを実施しているほか、近隣小学校との芸術交流指導として、学生が児童に対しオペラ指導などを行っている。
- ・初等教育学科においては平成24年度から学校インターンシップ体験実習等を授業科目として開設するため、現在準備中である。

<講評>

- ・学校ボランティアの取組が積極的に行われている。特に近隣特別支援学校でのボランティア活動等は、ボランティアを受け入れる学校側からのニーズも高く、芸術学部としての特性を活かしたすばらしい取組である。今後も教師としての能力形成や教職への意識付けの機会として積極的に活用してほしい。

■ 教職指導及びその指導体制の状況

<状況>

(大学)

- ・教務課、通信教育部事務室、大学院事務室に配置された教職課程担当者が、日常的な指導を行っている。
- ・就職指導については、教職相談室を置き、教員採用試験対策講座のほか、現職教員を招いてのセミナーなどの取組を行っている。
- ・通信課程の科目等履修生に対しては、400字程度の志望理由書を書かせ、教員免許取得の希望等を確認している。

(短期大学部)

- ・教職指導に特化した組織はなく、学務課など学科ごとに履修指導を行っている。

<講評>

(大学・短期大学部共通)

- ・教職支援室が設置され、学生への就職指導の体制や施設が整えられており、評価できる。今後はさらに決め細やかな支援を期待する。
- ・教員免許取得者及び教員就職者の少ない学科がみられるため、その要因を大学として分析し、改善を図ること。
- ・通信課程については、特に幼稚園及び小学校教員の課程において対面授業を増やすなど、丁寧な履修指導を行うこと。
- ・通信課程については、正科生であっても教員免許取得状況を把握されていないため、課程認定大学として、通信課程での教員免許取得状況についても把握をすること。

■ 教員養成カリキュラム委員会などの全学的組織の状況

<状況>

(大学・短期大学部共通)

- ・現在は教務委員会（学長を委員長、各学科長、事務職員が出席）において、教職課程のカリキュラムや教育実習に関する事項を扱っている。

(大学)

- ・平成24年度からは「教職課程運営委員会（仮称）」を立ち上げ、教職課程のカリキュラムの運営や履修指導から採用支援を全学的に取り扱う予定である。併せて事務組織として「教職・キャリア支援センター（仮称）」を立ち上げる予定である。

<講評>

- ・来年度から発足する「教職課程運営委員会（仮称）」において、全学的な教員養成の理念・構想を具体化するための立案機能や、教職課程科目の内容及び教職課程認定基準への適合性のチェック機能を発揮できるようにすること。

■ 施設・設備（図書等を含む。）の状況

<講評>

(大学)

- ・芸術に係る教育の施設設備が大変充実しているだけでなく、教職に関する科目に係る図書のほか、教育に関する実践的指導力の向上を図るための各種の教育機器等が十分に備えられている。
- ・初等芸術教育学科においては、理科実験室や家庭科室等が設置されているが、完成年度前であるため実験器具等が揃っていない部分がある。学校現場で使用されている器具・機材を揃えるよう、引き続き適切に管理運営をすること。